

委託事業実施内容報告書
平成 27 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】
実施内容報告書

受託団体名：飯田市

1. 事業名称

飯田市 地域との協働による日本語教育推進事業

2. 事業の目的

平成 26 年度に開催地域を拡充し、外国人世帯の集住地域 2 箇所でも試験的に行った日本語教室の活動から見てきた各地域の実情と課題、ニーズなどに寄り添った日本語教室をさらに関係機関等との連携を強化して開催し、外国人の自立促進と地域課題解消への一助となる。

教室に参加する学習者が、実践的な日本語を学ぶとともに、日本文化や地域の人々に触れることにより、地域社会へ踏み出していける架け橋のような役割を担うことを目指す。

地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にすることで、日本人と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。

3. 事業内容の概要

【取組 1】日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座の実施

平成 24 年度から取り組んできた「わいわいサロンⅡ」の学習内容で、生活に直結し特に重要な課題であるものについて、当市で以前から活動している既存の日本語教室を会場に実施。外部の講師を招いての講座等は、なかなか一つの教室だけではできるものでなく、普段の学習もマンネリ化傾向にあるため、この出張講座を機に、今後の活動を拡充につなげてもらうことを期待する。扱う内容や実施体制は、出張先の教室の中心スタッフなどを交えて検討した。

【取組 2】日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施

平成 26 年度に引き続き、日本語教室「わいわいサロンⅡ」を鼎・松尾の 2 箇所で前期・後期の 2 回ずつ開催。場所は鼎公民館と外国人集住地区常盤台地区をかかえる松尾公民館とし、その地域に住む外国人成人を主な学習対象とした。

内容は生活に必要とされる実践的な日本語とともに、地域の文化や生活情報などについても、地域の関係者や団体を教室へ迎えて学んだ。松尾教室については、内容を学習者のニーズに合わせて、初中級レベルに設定し、読み書きをしっかりと取り入れた。扱うテーマや教材は、平成 26 年度も参加していただいた日本語支援者や学習者を中心に企画会議で検討した。

【取組 3】日本語教室シンポジウムの実施

20 年近く地域で行われてきている日本語教室の活動の様子、地域日本語教育の重要性などを広く周知しその活動が今後活発化につながるためのシンポジウムを 5 月と 2 月に開催した。「わいわいサロンⅡ」を含めた市内各教室体験授業や活動の様子についての発表、各種アトラクションなどを通じて、関係者だけでなく、日本人、外国人を問わない一般の方々にも日本語教室の存在やその意義を知ってもらう機会とした。実施にあたっては、各教室の中心メンバー、外国人キーパーソン、飯田国際交流推進協会のメンバーなどを交えた実行委員会を組織し、数回の企画会議を開催し、当日の運営も行った。

4. 事業の実施体制について

【取組 1】日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座

コーディネーターが出張先のスタッフと企画会議を実施し、ニーズに合ったテーマを決定。その後、外部講師との打ち合わせを行った。講座当日は、「わいわいサロンⅡ」の日本語支援者が指導者・指導補助者として入り、出張先教室のスタッフと協働して教室を行い、終了後に皆で反省会を実施した。

【取組 2】日本語教室「わいわいサロンⅡ」講座

各教室が始まる前に、コーディネーターが指導者を含む日本語支援者、昨年の学習者を招集し、企画会議を行った。会議の中で、学習テーマの大枠を決め、詳細(タイトル、学習目標など)はコーディネーターが詰めた。決まった学習内容に基づき、指導者で担当回を振り分け、各自担当回の教案を作成、教室を実施。外部から講師やゲストを迎える場合は、主にコーディネーターが打ち合わせ等を行い、必要に応じて指導者も参加した。

【取組 3】日本語教室シンポジウム

市内各日本語教室の中心メンバー、外国人キーパーソン、飯田国際交流推進協会のメンバーなどを交えた実行委員会を組織し、数回企画会議を開催、当日の運営も行った。

【運営委員会】

年4回開催し、運営方法をメンバーで検証しながら事業を実施した。主査の春原直美氏には、毎回長野県内の多文化共生についてもお話いただき、その情報は教室運営にもいかすことができた。

【その他】

上記取り組みのすべてにおいて、事業担当(湯澤)が、関係者の連絡調整、学習者募集等の広報、教室の運営補助、各種事務処理等を担当した。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	春原 直美	佐久市市民活動サポートセンター
2	檜野 武司	竜丘公民館日本語教室
3	秦 文映	松尾常盤台日本語教室
4	吉澤 裕美子	ハンドインハンド和楽(日本語教室)
5	林 みどり	飯田市男女共同参画課
6	下岡 祥平	松尾公民館
7	大澤 志那子	飯田市公民館日本語教室
8	湯澤 ちふ美	飯田市公民館

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 5 月 16 日(土) 15:00-17:00	2 時間	飯田市公民館	春原直美、榎野武司、秦文映、吉澤裕美子、林みどり、下岡祥平、大澤志那子、木下巨一、氏原理恵子、湯澤ちふ美	1. 平成 27 年度文化庁委託事業について 2. 市内日本語教室情報交換 3. 長野県内の多文化共生に関する取組について
2	平成 27 年 9 月 19 日(土) 15:00-17:00	2 時間	飯田市公民館	春原直美、榎野武司、秦文映、林みどり、下岡祥平、大澤志那子、氏原理恵子、湯澤ちふ美	1. 事業の進捗状況について 2. 文化庁日本語大会報告 3. 長野県内の多文化共生に関する取組について 4. 市内日本語教室情報交換
3	平成 27 年 12 月 19 日(土) 15:00-17:00	2 時間	飯田市公民館	春原直美、榎野武司、秦文映、林みどり、下岡祥平、大澤志那子、氏原理恵子、湯澤ちふ美	1. 事業の進捗状況について 2. 日本語教室シンポジウムについて 3. 長野県内の多文化共生に関する取組について 4. 市内日本語教室情報交換
4	平成 28 年 3 月 5 日(土) 15:00-17:00	2 時間	飯田市公民館	春原直美、榎野武司、秦文映、林みどり、下岡祥平、大澤志那子、湯澤ちふ美	1. 平成 27 年度文化庁事業のまとめ、検証 2. 平成 28 年度事業予定 3. 平成 28 年度長野県内の多文化共生に関する取組の予定

6. 取組についての報告

取組1：日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

これまで「わいわいサロンⅡ」で扱ってきた学習テーマ、特に生活に密着し重要な内容のものについて、既存の日本語教室へ出張して行うことで、教室活動のマンネリ化を解消し、新たな視野を持った教室づくりのきっかけとする。また、日本語教室と地域機関の連携を働きかけ、学習者が地域社会とつながれるような教室づくりにも役立てる。市内日本語教室同士の横のつながり及び、当該日本語教室と地域機関の連携ができる体制を整備する。

(2) 取組内容

コーディネーターが出張先のスタッフと企画会議を実施し、ニーズに合ったテーマを決定。普段の日本語教室ではできない外部からの講師を招いた講座を実施した。

事前準備として、コーディネーターが講師との打ち合わせ、教案作成等を行い、出張先教室の中心メンバーは、学習者やスタッフへの周知などの準備を行った。

実施日は、出張先教室開催日とし、日本語教室「わいわいサロンⅡ」の日本語支援者が指導者・指導者補助者として参加、出張先教室のスタッフと協働して教室を実施し、終了後にスタッフで反省会を設けた。

(3) 対象者

日本語教室に参加している人

(4) 参加者の総数 19 人

そのうちの日本語学習者数 10 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
11									8

※その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 2 時間 (2 時間 × 全 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 7 月 18 日(土) 19:00-21:00	2 時間	松尾常盤台 集会所	10 人	もしもの時に…お葬式について	講師に葬儀場の方をお願いし、支援者の方々と出張して講座を実施。万が一家族の誰かが亡くなってしまったときの対応について学んだ。	①吉澤益美 ②秦文映③ 大澤志那子	①木下弘子 ②後藤信義 ③篠田初美 ④八木孝子 ⑤山崎ルミ

(7) 特徴的な活動風景

取組事例

【27 年 7 月 18 日】「もしもの時に…お葬式について」

松尾常盤台は、中国帰国者の集住地区であり、高齢化も進んできていることから、常盤台日本語教室指導者のところにはお葬式についての相談が増えている。そこで、講師にアイホールいとうの吉澤氏をお願いし、万が一家族の誰かが日本で亡くなってしまったときの対応についての講座を実施した。

導入では、家族のだれかが急に亡くなるストーリーを紙芝居的に提示。その後参加者同士の小グループで、その家族がまずしなければならないことについて考え話した。各グループで出たことを全体で共有してから、実際にどんなことをすればいいのか、費用はかかるのかなど、葬式の前までの流れについて、講師の話をきいた。講話の必要部分では、秦さんが随時通訳をし、学習者の理解を促した。

続いて、日本の火葬の習慣について全体で話し、再び小グループで、遺体をどうするか、どうしたいかについて話した。グループでの意見を全体で共有したあと、火葬の手続きや必要なものなどについて、再び講師の話を聞いた。参加者からは随時質問が出され、講師も随時対応した。

最後に、「まさかのときにパニックにならないため」に、元気なうちから意向を確かめたり、話し合いをしておくなどの対策や心構えなどについて講師から話しがあり、それについての質疑もされた。学習者はアンケートを記入し、講師にお礼のあいさつをして、終了となった。

今回の講座では、日本での葬儀経験者はより理解を深め、経験したことのない人は、なんとなくの心構えのようなものを培うことができたのではないかと。

教室準備としては、講師・コーディネーター・秦さんと数回にわたる打ち合わせを行い、日本で火葬するまでのシンプルな内容の資料を作成。中国では生前に人が亡くなることを話題にすることはタブー視されているというが、日本で暮らす上では知らなければ困る情報の為か、エンディングノートの準備をしたいという学習者も多くみられた。



(8) 目標の達成状況・成果

参加学習者アンケート(記述式)によれば、「いい内容だった」「多くを学んだ」「勉強のやり方がよかった」などの感想があり、講座は非常に好評であった。普段からあまり話題にすることのないトピックだっただけに、受講者の反応が心配ではあったが、講師への質問も多く出され積極的な学習姿勢が見られたことは、開講の成果といえるだろう。また、「日中交流が続きますように」といった日本人との交流に対する満足の声も聞かれた。普段の教室ではあまり体験できない日本人との日本語での会話が歓迎されたということで、出張講座の意義も見出せた。このように時折日本人が教室に参加することはよい刺激を与えるかもしれない。

また、講座終了後に、講師から紹介のあったエンディングノートが欲しいという問い合わせが、講座参加者以外からも入っており、教室で扱った内容が参加者の周りへの広がりを見せた。このことも今回外国人集住団地を抱える地区で出張講座を行ったことの成果と言えるのではないかな。

(9) 今後の改善点について

当初複数の教室へ4回程出張講座を予定していたが、実施できたのは1回だけとなった。実施に至らなかった教室は、ニーズが充分でなく実施体制も整わなかった。理由としては、他の日本語教室の実態をあまり把握しないまま、予測だけで計画してしまったことにある。各教室で長年にわたり確立してきたもの(授業形態や教室運営など)がある中へ、1回だけとはいえ全く別のものを組み込むという出張講座自体のやり方はそぐわなかった。一方、出張講座を実施できた常盤台教室では概ね歓迎され体制作りも進んだ。今後も市内各教室との連携をはかっていくために、それぞれの教室のあり方を尊重し、要望があれば協力していくようなかたちをつくっていく必要があるだろう。地区内の交流会やシンポジウム、情報交換会の共同開催、地域全体としてのボランティア養成やスキルアップ講座の開催といった連携を模索していきたい。

取組2: 日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施 (鼎教室 前期・後期)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・地域で暮らす外国人と日本人が出会い、交流する場とする。学習者はより実践的な日本語会話や読み書きを学び、地域で自立して生活していく。日本語支援者は、活動を通しての自己実現の場とする。
- ・教室の運営にあたり、関係機関との連携を深め、地域での日本語教育の重要性を発信する。また、今後の当市での日本語教育の中心的存在となる。

(2) 取組内容

- ・外国人の成人を対象とした、生活の為に必要な実践的な日本語や日本文化について学ぶ教室を開設。26

年度まで連続で開催している鼎地区で、前期・後期の2回開催した。

- ・教室の内容については、日本語支援者で構成される企画会議で検討し、必要に応じて教材等も作成した。
- ・学習テーマによっては、関係機関の方に教室に参加していただき、学習者が現場へ出向いたりもして、より実践的な日本語を学べるよう配慮した。
- ・これまでもいくつかの機関の方々に教室に参加していただいて連携を図ってきたが、一般市民等更なる連携先を模索し、学習者が地域住民のひとりとして生活していくためのきっかけ作りを行った。

(3) 対象者

日本語を学びたい成人

(4) 参加者の総数 43 人

そのうちの日本語学習者数 20 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
12		5							23

※その他の国籍と人数:カナダ 1、イギリス 1、スウェーデン 1

(5) 開催時間数(回数)

・ 30 時間 (2 時間 × 全 15 回)

(6) 活動の内容

前期 1～7 回【にほんごを楽しもう】 後期 8～15 回【りんご にほんご いいだのくらし】

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 6 月 8 日(月) 19:00-21:00	2 時間	鼎公民館	5 人	趣味について話そう	自分の顔、好きなもの、趣味などの絵を描く自己紹介シートを個々に書き、それを使ってペア、また一人ずつ自己紹介を体験。初回の教室で、初対面の相手も多かったが、お互いのことを知り合う楽しい会話が展開された。	①大澤志那子	①山崎りえ子②下岡恭子③山崎ルミ④向山敦子
2	平成 27 年 6 月 15 日(月) 19:00-21:00	2 時間	鼎公民館	6 人	知っておきたい日本のマナー	箸の持ち方、使い方、やってはいけないことなど日本のマナーを学んだ。中国と日本の箸事情の違い、その他テーブルマナーやおじぎの仕方などについても話した。	①大澤志那子	①山崎りえ子②篠田初美③下岡恭子④山崎ルミ⑤向山敦子
3	平成 27 年 6 月 22 日(月) 19:00-21:00	2 時間	鼎公民館	7 人	からだを動かしてみよう	地域で ZUMBA(ズンバ)を教えているブラジル人の方を講師に、ダンスを体験した。終了後は感想などを座談会形式で話した。	①大澤志那子②ゲンカセシリア	①篠田初美③下岡恭子③八木孝子④山崎ルミ
4	平成 27 年 6 月 29 日(月) 19:00-21:00	2 時間	鼎公民館	7 人	家族と健康	自分や家族の健康法、日本と自国の医療事情などについて、ペアやグループで話した。エピソードを共有するために、全員の前で学習者が話した。	①下岡恭子	①山崎ルミ

5	平成 27 年 7 月 6 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	5 人	病院の先生 と話してみ よう	学習者ひとりひとりが先生と の受診時の会話を体験。 個々のレベルに合わせ、簡 単な風邪の症状を伝えたり、 痛みを表すオノマトペ(ズキ ズキ、ガンガンなど)を使っ たりできた。実際に病院の医師 と話し、片言でも理解してもら えたことで、安心感を得られ た様子がうかがえた。	①大澤志那 子②白旗久 美子	①山崎りえ 子②篠田初 美③山崎ル ミ④向山敦 子
6	平成 27 年 7 月 12 日(日) 9:30-11:30	2 時間	飯田市 公民館	6 人	人力車と日 本の夏料理 を体験しよ う	飯田龍車の方に、りんご並木 や丘の上市街地についてゆ っくりとした日本語で解説し てもらいながら、支援者とペア で人力車を体験したあと、日 本の夏料理を体験した。	①佐藤 歩	①篠田初美 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤山崎ルミ
7	平成 27 年 7 月 13 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	6 人	日本語でメ ールに挑戦	携帯電話で日本語のメール 入力をすることを学習。学習 者の様々なレベルに合わせて 、日本語入力の基本から、 仮名遣い、表現のニュアンス などを個別に対応した。支援 者と実際にケータイメールを やりとりしながら進めた。	①大澤志那 子	①山崎りえ 子②篠田初 美③下岡恭 子④山崎ル ミ⑤向山敦 子
8	平成 27 年 10 月 19 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	7 人	【りんごを知 る】りんごに ついて話そ う	「りんご」を通してテーマにした1 回目。飯田はりんごが有名な ことは学習者もよく知ってい た。種類や食べ方等につい てグループで自由に話した。 付箋を使ってキーワードを記 録していくことで、目に見える カタチで学習記録ができ、各 グループで話した内容を全体 でも共有できた。	①大澤志那 子	①ジャロ京 子②木下弘 子③山崎ル ミ④向山敦 子
9	平成 27 年 10 月 26 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	7 人	【りんごと飯 田】りんご並 木と飯田の お祭り	地域の歴史や文化に大変詳 しい今村さんを講師に迎え、 りんご並木の歴史、お祭りの 仕組みなどについてお話し いただいた。スライド等多数 交えたお話でわかりやすかつ た。お話を数回に区切って、 グループで話し合う時間を設 け、理解を進めた。	①大澤志那 子②今村光 利	①木下弘子 ②山崎ルミ ③向山敦子
10	平成 27 年 11 月 2 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	9 人	【りんご旅の 計画】みんな で旅の計 画を立てよ う	翌週に計画されている研修 旅行について、交通手段や 集合時間などについて話しあ い、予定表を作成した。時刻 表や地図等の見方も実践し た	①大澤志那 子	①篠田初美 ②ジャロ京 子③木下弘 子④山崎ル ミ
11	平成 27 年 11 月 8 日(日) 13:00-15:00	2 時間	天龍峡	5 人	【りんご旅】 飯田線で紅 葉・りんご狩 りへ	悪天候のため参加者が少な かったが決行した。りんご園 では農家さんにりんご園や りんごの木についての説明を 聞きながら、の食べ比べがで きた。また、天龍峡を案内人 と共に散策でき、改めて地域	①黒河内悦 治	①ジャロ京 子②山崎ル ミ③大澤志 那子

						の観光資源に目を向けることができた。		
12	平成 27 年 11 月 16 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	7 人	【りんごを育てる】おいしいりんごができるまで	研修旅行で訪れたりんご園の松尾さんに講師としてお話をしていただいた。りんご園の作業について、まずグループで予想してから松尾さんの話を聞くことで、より理解を深めることができた。おいしいりんごができるまでにはたくさんの苦労があることを知った。	①大澤志那子②松尾真由美	①篠田初美 ②ジャロ京子③山崎ルミ④向山敦子
13	平成 27 年 11 月 30 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	8 人	【りんごを食べる】りんごを使ったスイーツを作ってみよう	宇佐美さんの指導のもと参加者全員でアップルパイを作って食べた。家庭でも簡単にできるものを教わったため、家でもやってみた人がいた。講師宇佐美さんのプロの技も間近で見ることができた。	①宇佐美健一	①ジャロ京子②木下弘子③山崎ルミ④大澤志那子
14	平成 27 年 12 月 7 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	8 人	【りんごを楽しむ】りんごの絵本と歌	講師に図書館利用の方法や外国図書の紹介をしていただいたあと、りんごに関する絵本や紙芝居を読み聞かせをした。最後にりんごについて俳句や川柳、あいうえお作文等の作品をつくった。	①大澤志那子②樋本有希	①後藤信義 ②木下弘子 ③山崎ルミ ④向山敦子
15	平成 27 年 12 月 14 日(月) 19:00-21:00	2 時間	県公民館	9 人	【りんごを描く】絵手紙に挑戦	各地で絵手紙の講師をされている黒河内さんにおいでいただき、絵手紙を描く体験をした。名前の一字だけ書く「字手紙」と、2 種類のりんごの絵手紙と言葉を添えた計3作品をつくることができた。	①黒河内秀幸	①後藤信義 ②篠田初美 ③ジャロ京子④木下弘子⑤山崎ルミ⑥向山敦子⑦大澤志那子
番外	平成 28 年 1 月 24 日(日) 10:00-13:00	3 時間	県公民館	11 人	餃子新年会	中国人学習者らが自発的に企画し、教室参加者とその家族を対象に交流会を開催した。総勢 45 名の参加があり、学習者は日本語を駆使して本場の餃子作りを教えてくれた。		

(7) 特徴的な活動風景

取組事例①

【第 9 回 27 年 10 月 28 日】「りんごと飯田～りんご並木と飯田のお祭り～」

飯田市のシンボルのひとつである「りんご並木」、また 3 月に開催される 7 年に一度の「お練り祭り」について学習するため、橋南公民館文化委員長今村さんを講師に迎えた。

りんご並木の始まりや年齢、手入れをしている人などについて、まずグループで話して予想してもらった。グループで出たことを全体で共有してから、今村さんに答え合わせのようなかたちで改めてお話しいただいた。今村さんのお話しのあと、グループで理解度を確認しながら振り返りをした。

続いて日本の祭りについての学習。りんご並木同様、まず目的や集金方法などについてグループで話し

て予想をした。それを全体で共有してから、今村さんに一般的な祭りの目的や仕組みについてのお話しと、お練り祭りの紹介をしていただいた。その後時間の許す限り質疑応答をして終了した。

今村さんのお話は、スライド等多数交えたお話でわかりやすかった。学習者だけでなく日本人支援者にも、飯田のことについて詳しく知る機会となった。お話を数回に区切って、グループで話し合う時間を設けたことで、少し難しい話題を取り上げることができよかった。学習者の理解度を見ながらすすめることができ、学習者も興味を持続したまま話を聞くことができた。

りんご並木の存在や地域でお祭りがあることはすでに知っている学習者も多かったが、その歴史や由来は知らなかった。講座を通して自身が地域住民のひとりとして生活していることが自覚できるといい。



取組事例②

【第14回 27年12月7日】「りんごを楽しむ～りんごの絵本と歌～」

飯田中央図書館外国語図書担当の樋本さんを講師にお迎えした。中央図書館にはかなりの外国語図書の蔵書があるが、あまり利用されていないということで、最初に図書館利用の方法や外国図書の紹介をしていただいた。図書購入の予算があり、ほしい本をリクエストできることについてもお話しがあった。紹介のあった本を実際に手に取りながら、グループで樋本さんのお話を振り返った。

続いて講座全体のテーマ「りんご」に関する絵本を数冊、読み聞かせのかたちでご紹介いただいた。りんご栽培の様子がわかる写真絵本や短めの物語など、親しみやすいものばかりを選んでくださり、参加者は集中してきいていた。これまでのりんごについての学習を思い出しながら楽しむことができたようだった。りんごに関する作品紹介の最後に俳句の紹介をしていただいた。句の情景をマンガで解説してあるもので、使われている言葉は難しいが、情景は理解できたようだった。

最後に、日本語講師から例を示しながら川柳やあいうえお作文の作り方を説明してから、日本語支援者が個別にサポートして、それぞれ川柳やあいうえお作文を作った。できたものは口頭で発表し、板書で共有した。音の数を数えることなどは馴染みがなく難しい様子ではあったが、りんごや身近なものを題材にしての言葉遊びに少しでも親しむことができたのではないかな。

学習者が作った川柳

- りんごの実 秋の宝石 きれいだな(中国出身者)
- このかばん どこへ行くにも もっていく(ブラジル出身者)
- なにかしら みんなの笑顔 きれいです(ブラジル出身者)



(8) 目標の達成状況・成果

“日本語で出来ることを増やそう”ということより、“日本語でしっかり話す”ということを念頭に、学習者が教室内でたくさん日本語が話せるよう組み立てた。

前期教室の「体を動かしてみよう」では、以前に学習者としてわいわいサロン参加していたブラジル出身の方を講師に迎えたところ、教室では見せないイキキとした明るい姿で、しっかりとした日本語で指導してくれた。‘頑張る外国人’の姿は他の学習者にもよい影響を与えたように感じる。

後期教室は、テーマを地元の名産である「りんご」とし、地域の様々な一般市民に講師として関わっていただいた。講師として関わってくれた一般市民の皆さんからは、学習者の意欲的な様子に驚くと同時に、「きちんと伝わったかな」「こんな機会が欲しかった」といった外国籍住民への関心の声が聞かれた。

また、中国人学習者が教室終了後に「りんご並木」の手入れ作業に地元の中学生と参加したり、自分たちも何かしたいと「餃子会」(わいわいサロンⅡ番外として実施)を提案したりしてくれたり、りんごというひとつのテーマを通して、参加者皆が繋がることができた教室だった。

これまでは関係機関との連携が多かったが、地域の資源をテーマに、地域の一般市民を講師として迎えることは、学習者が地域参画していくよいきっかけとなり、日本人も外国出身者のことを知る為の一助となったように感じる。

(9) 今後の改善点について

病院等各関係機関の他、一般の市民の方にも講師として関わっていただいたことで、(8)で記載したような成果がみられた。しかし、大半の市民には、まだほとんど外国籍住民に対する関心や理解はなかなか得られていない現状がある。今後も一般市民を含む更なる連携先を開拓し、これまで実施してきた日本語教育事業を地域に定着させていく必要がある。

また、最近参加している学習者は、日本人配偶者、学齢期を越えて来日する若者、長年住み続けている方など年々多様化しており、外国籍住民のニーズに合った日本語力と生活情報にも対応しなくてはならなくなっている。

取組2: 日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施 (松尾教室 前期・後期)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・地域で暮らす外国人と日本人が出会い、交流する場とする。学習者はより実践的な日本語会話や読み書きを学び、地域で自立して生活していく。日本語支援者は、活動を通しての自己実現の場とする。

・教室の運営にあたり、関係機関との連携を深め、地域での日本語教育の重要性を発信する。また、今後

の当市での日本語教育の中心的存在となる。

(2) 取組内容

- ・外国人の成人を対象とした、生活の為に必要な実践的な日本語や日本文化について学ぶ教室を開設。外国人集住地区をかかえる松尾公民館で、前期・後期の2回開催した。
- ・企画会議で昨年の学習者から出てきたニーズを受け、扱う内容は初中級レベルの読み書きが学べるものとし、必要に応じて教材等も作成した。

(3) 対象者

- ・日本語を学びたい成人

(4) 参加者の総数 24 人

そのうちの日本語学習者数 16 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
5		7				1		3	8

※その他の国籍と人数：

(5) 開催時間数(回数)

・ 28 時間 (2 時間 × 全 14 回)

(6) 活動の内容

前期 1～6 回【もっとにほんご！】 後期 7～14 回【DST 作品をつくろう！】

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 7 月 22 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	自己紹介	〈話す〉として、すこし改まった場面での丁寧な自己紹介を学び、参加者同士で趣味等について会話をした。〈書く〉としては、自分の住所をできるだけ漢字を使って書く練習をした。流暢には話せるが、住所を漢字で書くことにはかなりの個人差が見られた。	①大澤志那子	①服部珠予 ②八木孝子
2	平成 27 年 7 月 29 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	4 人	自己紹介 ②・ニュースの日本語	〈話す〉は、自己紹介の続きとして、自分の国の文化やイベントについてお互いに聞いたり話したりした。〈読む〉活動として、担当者が用意したニュースの記事を選んで読み、その内容をクラスへ発表した。	①服部珠予	①ジャロ京子 ②八木孝子 ③大澤志那子
3	平成 27 年 8 月 5 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	日本語でメール	〈話す、読む、書く〉の総合学習。日本人からの一通のメールを受信した設定で、そのメールを読み、どう返信するか支援者と話し、実際に返信を日本語で入力して送信するという手順。個々のニーズや日本語レベルに合わせて個別	①大澤志那子	①木下弘子 ②ジャロ京子 ③服部珠予 ④八木孝子

						に対応した。		
4	平成 27 年 8 月 19 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	4 人	J-POP を歌おう	〈話す〉題材として「音楽」をとりあげ、好きな音楽のジャンルやカラオケで歌う曲などについて話した。〈読む〉材料として J-POP の一曲、いきものがかりの「YELL」の歌詞を読んだ。また CD に合わせて歌ってみることもした。個々に歌詞の中で好きな部分について話したが、非常に深い解釈をしていた。	①八木孝子	①服部珠予 ②大澤志那子
5	平成 27 年 8 月 26 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	5 人	自分史を作ろう	人生すごろくをしながら、グループで〈話す〉活動をしたあと、簡単な年表風に自分の歴史をシートに〈書く〉ことをした。シートに書いた人生のイベントの中からひとつを選んで、ペアで語り合った。	①大澤志那子	①木下弘子 ②ジャロ京子 ③服部珠予 ④八木孝子
6	平成 27 年 9 月 2 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	イベントを企画しよう	グループ毎に〈話し〉て、みんなでやりたいことを企画し、それをチラシとして〈書いた〉。できたチラシをもって、他のグループの人をそのイベントに誘う会話をした。実際に実行できそうな楽しい企画ができた。	①ジャロ京子	①木下弘子 ②服部珠予 ③八木孝子 ④大澤志那子
7	平成 27 年 12 月 9 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	4 人	DST ってなに？	参加者全員で自己紹介とアイスブレイクをしたあと、講座内容のオリエンテーション。あらかじめ支援者で作成したミニ DST 作品を見た。支援者数人が写真を見せてその写真について話すデモンストレーションを通して、今後行うことのイメージをつかんでもらった。	①服部珠予	①下岡恭子 ②大澤志那子
8	平成 27 年 12 月 16 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	DST 作成①	各自持ち寄ったお気に入りの写真を見せて、一人ずつその写真について話す活動。聞いている人は質問したり共感したりしながら、お互いについて深く知っていく感覚を覚えた。話のあと学習者と支援者でペアをつくり、話したことを基に写真について作文する作業。残りは次回に持ち越し。	①服部珠予	①下岡恭子 ②ジャロ京子 ③後藤信義 ④八木孝子 ⑤大澤志那子
9	平成 27 年 12 月 23 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	5 人	DST 作成②	それぞれの進捗でミニ DST 作品づくりの続き。前回欠席だった学習者は、写真について話すところから始めた。作文を仕上げたら、タイトルを考えて紙に書き、写真を撮る。2 人ほどは作文を読む練習をして録音した。	①服部珠予	①下岡恭子 ②後藤信義 ③八木孝子 ④大澤志那子

10	平成 28 年 1 月 6 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	8 人	DST 作成③	これまでに完成した作品を見たあと、それぞれにミニ DST 作品作りを進めた	①服部珠予	①下岡恭子 ②後藤信義 ③八木孝子 ④大澤志那子
11	平成 28 年 1 月 13 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	5 人	DST 作成④	ミニ DST 作品づくり。新規学習者の参加もあり、小グループで写真を見せて話すことを体験。作文にも取り組んだ。一作品完成した学習者は2番目の作品作りに入った。	①服部珠予	①下岡恭子 ②ジャロ京子 ③後藤信義 ④大澤志那子
12	平成 28 年 1 月 20 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	DST 作成⑤	前半は参加者全員でのフリートーク。これまでペアで作業をすることが多くお互いに話すことは少なかったが、よい交流ができた。その後、引き続きそれぞれの進度でミニ DST 作品作りを行った。	①服部珠予	①ジャロ京子 ②後藤信義 ③八木孝子 ④大澤志那子
13	平成 28 年 1 月 27 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	6 人	DST 作成⑥	引き続き作品づくり。多数の学習者が2作目(一部3作目)の録音を行った。	①服部珠予	①下岡恭子 ②ジャロ京子 ③後藤信義 ④八木孝子 ⑤大澤志那子
14	平成 28 年 2 月 3 日(水) 19:00-21:00	2 時間	松尾公民館	9 人	DST 作成 ⑦・上映会	ミニ DST 作品の2作目の仕上げ作業をしてからこれまでの作品全部の上映会をし、感想等を話し合った。「難しかったがおもしろかった。」「またやりたい。」という声がきかれた。	①服部珠予	①下岡恭子 ②ジャロ京子 ③後藤信義 ④八木孝子 ⑤大澤志那子

(7) 特徴的な活動風景

取組事例①

【第 6 回 27 年 9 月 2 日】「イベントを企画しよう」

話す・読む・書くの総合学習ということで、イベント企画をした。導入として、この地域に住んでどのくらいか、行ってみたいところはあるかなどについて話した。その後グループに分かれて、行きたいところややってみたいことなど自由に話した。その中からグループでひとつイベントを企画し、話し合いで具体化した。楽しいイベントに友達も誘うためということで、チラシ作成にも取り組んだ。一般の行事のチラシを読んで参考にし、項目や書き方などを確認してから、個々に作業をしてオリジナルチラシを手書きしてみた。できたチラシを見せながら、イベントについて発表した。最後にチラシを持って別のグループの人を自分の企画に誘う会話練習をし実践した。パラグライダー体験や電車の旅など、実際に実行できそうな楽しい企画ができた。チラシや地元観光パンフレットなどの資料も用意し、キャッチフレーズや説明文の参考とした。



取組事例②

【第 14 回 28 年 2 月 3 日】 「DST 作品作成・上映会」

入室した人からそれぞれの進度に合わせてミニ DST 作品の2作目の仕上げ作業をした。3 人ほどがナレーションの録音をした。それまで数回出席できず、この日に作文、練習、録音の全てをこなした学習者もひとりいた。2 作目もすでに完成していた数人は、グループでフリートークをしながら他の作品の完成を待った。録音が終了し、簡単な編集作業の後、これまでの作品全部の上映をした。作品観賞後、お茶を飲みながら感想等を話し合った。「難しかったがおもしろかった。」「またやりたい。」という声がきかれた。母親が自分について作った映像を見て、感動して涙を流す子供もいた。

毎回学習者はお気に入りの写真について伝える為、細かいニュアンスまで表現しようと努力する姿が見えた。また、写真を見て話をするので、互いをすぐに知ることができ、学習者にも支援者にも好評な取組であった。



(8) 目標の達成状況・成果

昨年の学習者らを加えた企画会議でみえてきたニーズから、初中級レベルを対象とし、話せるが読み書きが不十分な方が集まることを期待して実施した。前期は、会話に加えて読み・書きを毎回取り入れた内容に組み立て、後期はDST(デジタルストーリーテリング)作品を作る活動をした。集まった学習者は、もっと日本語ができるようになりたいと日頃から思っていた方が多く、学習意欲が非常に高かった。欠席する方も少なく、積極的に質問などもでた。

実施後にした聞き取り調査では、学習者からは「自分がこんな風に話していると思わなかった」「もっときちんとした日本語ができるようになりたい」といった声が寄せられ、支援者からは「学習者との距離が近くなった

ように感じる」「いい取組なので指導方法についてはもっと検討が必要」などといった声があった。

運営委員メンバーから DST 作品作りに関して、「起承転結など、入れ知恵があるととってもいいものができたと思う」「この取組はプレゼン能力を付けるにもよい。就職活動でも役に立ちそう。」という感想が出された。

(9) 今後の改善点について

後期に実施した DST 作品作りでは、個別指導で作文して録音したが、支援者には学習者が書いた日本語をどこまで直したらよいかという戸惑いがあった。この辺りについては、支援者研修が必要であった。また、本来の DST は、語りたいテーマを決め、十数枚の写真で作品制作をしていくものであり、制作の過程で心の整理を促す効果が期待できる取組であるが、今回は当方の技術不足もあり、1 枚の写真について語ること(ミニ DST)に留めた。短時間で自己表現できる作品づくりが可能なため、今回の学習者層にはちょうどよかったかもしれない。将来的には支援者の研修を積んで、長めの DST 作品づくりができることを目指したい。学習者の日本語力向上とともに、地域で生活している外国人が自己を肯定的に捉え地域参画していける一助としたい。

この松尾教室については、地域との連携の要素が弱いものになってしまったことは否めない。教室の学習の中で、支援者と学習者の関係を構築することはできたが、それ以外の地域組織などとのつながりは乏しかった。今後は扱うテーマの中に地域と連携できるものを意識的に取り込んでいく必要がある。

取組3: 日本語教室シンポジウム

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教室の活動について発信し、一般市民へ広く周知し、今後の地域日本語教育活動をより充実させる。

(2) 取組内容

・市内の各日本語教室の活動発表、学習者の成果発表、意見交換会、各種アトラクション(ダンス発表など)などを一同に開催するシンポジウムを5月と2月に実施。

・事前に、市内の日本語教室代表者、外国人キーパーソン、飯田国際交流推進協会メンバーなどからなる実行委員会を組織し、企画会議を開いて内容を検討し、当日の運営も行った。

(3) 対象者

・外国籍住民を含む飯田市民

(4) 参加者の総数 140 人

そのうちの日本語学習者数 50 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
6		11	10					22	90

※その他の国籍と人数: カナダ 1

(5) 開催時間数(回数)

・ 6.5 時間 (2 時間 × 1 回、4.5 時間 × 1 回 全 2 回)

※うち日本語教室での学習時間は、1.5 時間

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
---	------	-----	----	------	--------	------	------	------

1	平成 27 年 5 月 30 日(土) 15:00-17:00	2 時間	松尾公民館	35 人	飯田市の国際化の現状と日本語教室について	飯田市における国際化の様子や在住外国人に実態について高校生を対象に講義した。	①大澤志那子	
2	平成 28 年 2 月 14 日(土) 12:30-17:00 ※うち日本語学習は 15:00-16:30 の 1.5 時間	4.5 時間	鼎公民館	105 人	いってみよう やってみよう 日本語教室！	12:30 から各種アトラクションなどをスタート。 日本語教室体験は 15:00 から実施し、日本語を学びたい外国人と日本語教室に興味がある新規の日本人も対象に、いつもの教室の様子が伝わるような授業を行なった。 テーマは「自己紹介」。	①大澤志那子	①後藤信義 ②下岡恭子 ③ジャロ京子 ④木下弘子 ⑤山崎ルミ ⑥向山敦子 ⑦服部珠予 ⑧八木孝子

(7) 特徴的な活動風景

取組事例①

【第 1 回 27 年 5 月 30 日】 「飯田市の国際化の現状と日本語教室について」

飯田市における国際化の様子や在住外国人に実態について高校生とその親を対象に講義した。市長の出席もあった。〇×クイズなども交え、高校生と対話をしながら進めた。

その後、この講義を聞いた高校生 2 名がボランティアとして日本語教室に参加してくれた。海外での国際協力に目が向きがちな高校生が、地元の国際化と今ここで出来る国際協力について考えるよいきっかけとなった。



取組事例②

【第 2 回 27 年 2 月 14 日】 「いってみよう やってみよう 日本語教室！」

日本語教室体験は 15:00 から実施し、日本語を学びたい外国人と日本語教室に興味がある新規の日本人も対象に、いつもの教室の様子が伝わるような模擬教室体験を行った。テーマは「自己紹介」。

外国人キーパーソンを含む実行委員会を立ち上げ、数回の会議を設けた。当日も実行委員を中心にその周辺からの協力者も交えて運営にあたっていた。

参加した人々は、それぞれの催しを楽しんでくれていたが、いろいろなものを同時開催にしてしまったため、日本語教室体験への参加者が期待通りではない部分もあった。反省を活かし、次につなげたい。

【内容】

〈日本語教室展示〉市内各教室の様子の展示(わいわいサロنبースでは DST 作品の上映も行った。)

〈日本語教室体験〉いつもの支援者のみなさんにも協力いただき、普段の教室をお茶を飲みながら 90 分程度体験した。

〈外国文化体験〉日本語教室の学習者が先生を務め、ダンスを体験した。

〈日本文化体験〉茶道・生け花・水引の体験。地元の伝統工芸水引が外国人参加者に非常に人気があった。

〈言葉の壁〉会議の中で実行委員の外国人から日頃感じている悩みや思いがたくさん出てきた。そこで、自由にそういったことを書けるようにしたらどうか、となり、このコーナーを設置したが、目立たない所にあったので、あまり書いていただけなかった。

〈多文化図書館〉外国の絵本、書籍の展示、図書館利用の方法について、図書館職員の方にお話しいただいた。

〈多文化共生を考えるつどい〉高校生による私たちができる国際協力についての発表、市内に住む外国人の皆さんによる「飯田に暮らして、働いて」というテーマの発表を行った。

○日本語教室体験 授業風景



○教室の様子についての展示



○多文化図書館（図書館職員が対応）



○飯田の伝統文化「水引」の体験



○外国籍住民によるパネルディスカッション



(8) 目標の達成状況・成果

日頃それぞれに活動している団体や人が連携してこういった事業を実施出来たことは、今後の関係強化に繋がる大切なきっかけとなった。

特に外国人キーパーソンが実行委員メンバーとして関わってくれたことで、会議の中で彼らが日頃相談を受けたり、感じたりしていることなど、貴重な意見を聞く機会にもなった。フィリピンコミュニティキーパーソンの方は、「皆と一緒に活動することがとても楽しい。勉強にもなりますし、自分ができることをすることが、日本人への恩返しだと思っている。飯田市が外国人のわたしたちが住みやすくなるようどれだけやってくれているかを知っている。感謝しています。」と話してくれた。

また、これまでに日本語教室で講座を行ってくれた講師は、今回のシンポジウムへの協力を大変快く引き受けてくれ、指導の際もゆっくりした日本語で話すなど、日本語が得意でない方にも配慮した対応をしてくださった。

参加者からは、「初めて‘日本人’って自己紹介しました(日本女性)」「日本人ももっと外国の文化を覚えるといい(ブラジル男性)」「日本の文化体験が面白かった(ベトナム女性)」といった意見がでた。

(9) 今後の改善点について

これまでに日本語教室に関わったことのない一般市民(日本人)の参加が期待通りではなかった。また各体験を同時進行で実施した為、人が分散してしまったり、内容が盛りだくさんだった為「日本語教室体験」が薄れてしまった。来年度は、日本語教室の取組の様子がもっと色濃くでる成果発表のような形を検討したい。

実施体制については、外国人キーパーソンらの協力もあり、問題なかったように感じる。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

平成26年度に開催地域を拡充し、外国人世帯の集住地域2箇所でも試験的に行った日本語教室の活動から見てきた各地域の実情と課題、ニーズなどに寄り添った日本語教室をさらに関係機関等との連携を強化して開催し、外国人の自立促進と地域課題解消への一助となる。

教室に参加する学習者が、実践的な日本語を学ぶとともに、日本文化や地域の人々に触れることにより、地域社会へ踏み出していける架け橋のような役割を担うことを目指す。

地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にすることで、日本人と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

企画会議に学習者に加わってもらうことで把握できた要望(特に読み書きについて)を学習内容として教室で開催できた。松尾教室の学習者からは、「難しかったが楽しかった」「DST 作品をもっと作ってみたい」「録音すると自分の日本語のだめなところがわかる」など、学習内容への満足感と更なる学習意欲が伺える感想が得られた。

読み書き以外でも県教室では生活と直結するテーマや地域の産業・文化などに焦点をあてて学習した。地域の様々な分野の方を講師として教室へ迎えたり、学習者が現場へ出向いていく機会を通し、個人を含む関係機関との連携体制が構築され、外国人の自立促進へと繋がれたと考える。

飯田市は全国的にも公民館活動が活発な地域であり、住民の学習の場として認識されている。その公民館が主体となった事業の為、今までになかった公民館文化委員さんなどと繋がることができた。講師としてお迎えするにあたり、事前打ち合わせを重ね、普段あまり触れ合うことのない外国人の存在について意識を向け

てもらえる機会になったことは、市民意識の啓発にも繋がったのではないかな。

(3) 地域における事業の効果、成果

取組 1 では、既存の日本語教室への出張講座を実施したところ、非常に好評であり、「日中交流が続きますように」といった日本人との交流に対する満足の声も聞かれた。外国人が集住する団地の日本語教室であったため出張講座で日本人と日本語で交流するよい機会となった。内容についても理解が深まり、団地内で広がりを見せたことは団地に居住する外国人も地域活動に参画していける足がかりになると期待できる。

取組 2 では、ニーズに合った教室を開催し、各機関のほか、地域の一般市民を講師に迎えたことで学習者の積極的な参加や飯田の暮らしへの理解が深まったように感じる。教室終了後に、自主的な地域活動への参加や自分たちにできることを考えて提案してくれる学習者が出たことも成果である。

取組 3 では、日本語教室の存在や取組内容を地域に発信することができた。

これら 3 つの取り組みを通して、日本語教室が言葉だけでなく、日本人とともに地域ことを学んでいることをひろく知っていただくことが出来たのではないかな。また、講師として関わっていただいた地域の方々には、在住外国人の様子を知ってもらおうきっかけともなった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

地域の一般市民を講師に迎えたことは、学習者が地域のことを学ぶ上で効果的だった。講師とは事前に打ち合わせをしたり、教材作成を行う中で、外国籍住民への理解が得られたように感じる。

これまでも関わって貰ったことのある関係機関は、ゆっくりした簡単な日本語で話すなど、外国人の対応に慣れてきている。また、高齢者も多く在籍する団体などでは、教室に参加することに楽しさを感じ、また呼んで欲しいという声も届いている。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

今年度新たに「わいわいサロン」公式フェイスブックページを立ち上げ、教室の開催日程や授業、シンポジウムの様子を随時発信した。アップした情報は、外国人キーパーソンがシェアして拡散してくれたため、閲覧数は多い時で約 700 まで伸びた。地元出身で日本語教育を学んでいる大学生がフェイスブックを見て、帰省した際に教室に参加してくれることもあった。また、必要に応じて飯田市の公式のフェイスブックにも掲載を依頼、一般市民へ向けた発信を試みた。

その他、チラシを各地区公民館、組合回覧、市役所外国人相談窓口、ハローワーク、図書館等に設置した。効果については数字では現れていないが、こうした活動を日本人にも周知すべく今後も行う予定。また、SNS 等も活用し、効率よくたくさんの方へアプローチしたい。

日本語教室シンポジウムでは事業の成果を地域へと発信した。参加者からは、「日本語が勉強したいと思った(フィリピン女性)」「日本語ができるようになることは、よりよい仕事に就けることに繋がる(フィリピン女性)」「初めて‘日本人です’と自己紹介した(日本女性)」といった声があがった。

(6) 改善点、今後の課題について

今年度はどの教室でも学習者が定着した。「学習したことが楽しい」「もっとやりたい」「次はいつか」などの声が多く聞かれた。今後はそんな学習意欲の高さに応えられる学習内容を研究し、組み立てていくことが求められる。

また、地域の産業に目を向けた学習テーマが好評であり、新たな連携先を開拓できた。これまでは、課題解決のための連携先を模索してきたが、身近なところに目を向けることで、新たな学習テーマや連携先を開拓

できる可能性が広がるだろう。今後もさらに分野に広げた教室活動のテーマを探していく必要がある。

(7) その他参考資料

○日本語教室「わいわいサロンⅡ」県教室・前期

平成 27 年度文化庁国際交流事業 国際日本語教室プログラム (B)

がいこくじん
外国人のみなさん!!
飯田の生活を
楽しんでほしいか?
日本語で
話してみませんか?

飯田市民館主催

にほんごを楽しもう

～日本語教室わいわいサロンⅡ～ 場所: 県公民館
2015年6月8日～7月13日 全7回 19:00～21:00

回	日時	教室で勉強すること
1	6月8日(月) 19:00～21:00	趣味について話そう!
2	6月15日(月) 19:00～21:00	知っておきたい日本のマナー
3	6月22日(月) 19:00～21:00	ダンス体験☆体を動かしてみよう!
4	6月29日(月) 19:00～21:00	家族と健康
5	7月6日(月) 19:00～21:00	病院の先生と話してみよう
6	7月12日(日) 19:00～21:00	入力率と日本の差別意識を体験してみよう! 場所: 飯田市民館 参加費: 500円
7	7月13日(月) 19:00～21:00	日本語でメールに挑戦!

申込みについては要面をお読みください。

【問い合わせ】飯田市民館 ゆさむ
TEL: 0265-22-1132 FAX: 0265-22-1132
E-mail: iccc01qkr1@city.iida.nagano.jp

無料♪
証明書♪

～日本語教室わいわいサロンⅡについて～

日本人や他の外国人と、日本語でたくさん話しましょう。
たくさんまちがえて大丈夫。
参加者全員で楽しい教室をつくりましょう。

【場所】県公民館
飯田市中平 1339-5
TEL: 0265-22-1234

申し込みは、電話、FAX、Eメールで受け付けます。申し込みは、公民館が市役所へ出してください。

【日本語教室 申込書】

名前 _____ TEL _____ ☆

住所 _____ 出身(国籍など) _____ ☆

勉強したいこと(あれば) _____ ☆

○日本語教室「わいわいサロンⅡ」鼎教室・後期

飯田市民館

にほんご教室

りんご・にほんご・いいだのくらし
～地域でイキイキ暮らそう～

【とき】10月19日～12月14日(月)全8回
【時間】夜7時～9時
【場所】鼎公民館
【託児】あります
【受講料】無料



飯田の生活楽しんで♪

飯田は「にほんご」が有名なまちです。
そこで、日本語教室のテーマを「りんご」にしました！
りんごを通して、飯田と日本語を楽しく学びます。
さらに、出かけたい場所も一緒に楽しみたい教室にしましょう！

教室の内容は、裏面をご覧ください★

【問い合わせ】

飯田市民館 通称 TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022
E-mail iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp

日本語教室「わいわいサロンⅡ」

日時	内容
1 10月19日(月) 19:00～21:00	りんごを知る ◆りんごについて話そう！
2 10月26日(月) 19:00～21:00	りんごと飯田 ◆りんごと飯田のお祭り
3 11月2日(月) 19:00～21:00	りんご旅の計画 ◆みんなで旅の計画を立てよう！
4 11月8日(日) 13:00～18:00(予定)	〈お楽しみ企画〉 りんご旅 ◆みんなで出かけよう！飯田産りんごを味わおう！ ※参加費500円(電車代など1,000円程度)
5 11月16日(月) 19:00～21:00	りんごを育てる ◆おいしいりんごができるまで
6 11月30日(月) 19:00～21:00	〈贈答案〉 りんごを贈る ◆りんごを使ったスイーツを作ってみんなで食べよう！ ※参加費500円(300円程度)
7 12月7日(月) 19:00～21:00	りんごを楽しむ ◆りんごの絵本と歌を歌おう♪
8 12月14日(月) 19:00～21:00	りんごを贈る ◆贈り物に挑戦！

日本人や他の外国人と日本語でたくさん話しましょう。
たくさんまちがえても大丈夫。
参加者全員で楽しく教室を体験しよう。



【場所】
鼎公民館 TEL0265-22-1284



【申込書】

名前 TEL
住所 出身
勉強したいこと

○日本語教室「わいわいサロンⅡ」松尾教室・前期

外国人の皆さん!
To All Foreigners! 外国人の皆さん!
Aos estrangeiros!
もっと日本語を話せるようになりたい!
Upgrade Your Japanese! 更なる会話力を目指!
Mais fluente em língua japonesa!

中級日本語教室 Intermediate Course 中級日本語教室 Curso de japonês nível médio

もっとにほんご!



～日本語教室「わいわいサロンⅡ」～
【期間】2015年7月22日～9月2日(水)全6回 19:00～21:00
July 22nd - September 2nd (2015) (Wednesday) (6 lessons)
7月22日～9月2日(水曜日) 全6回
22 julho - 2 setembro de 2015 (As feiras) total de 6 aulas
17/2227/2938/538/1938/2639/2

【場所】松尾公民館 Matsuo Kouminkan

【内容】中級の日本語の読み書きと会話
Intermediate course in Reading, Writing and Conversation in Japanese.
中級日本語の読書と会話!
Nível médio em escrita, leitura e conversação.

【申込み先】飯田市民館 Iida-shi KOUINKAN

▼無料 - Free - 免費 - Gratuito ▼託児あり - Kids Care - 有託児 - Tem creche

こんなひと、どうぞ!

- しゃべれるけど書けない人
- 丁寧な日本語で話したい人
- One who could talk (in Japanese) but couldn't write.
- One who would like to speak politely (in Japanese).
- 会話では聞き取れない人
- 想礼儀正しく話したい人
- Para quem sabe conversar, mas não sabe escrever.
- Para quem quer aprender a conversar em linguagem polida.



【問い合わせ For Inquiries 問い合わせ Informação】

飯田市民館・Iida-shi KOUINKAN ゆざわ・Yuzawa
TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp

日本語教室申し込み書 日语教室申请书 Application Form Folha de Inscrição

★名前 Name Name
★住所 Address End.
★出身 出生地 Nationality País
★勉強したいこと 想学習の内容(なまえ) Suggestions (if there's any particular lesson one would like to learn.)
Se tiver algo que queira estudar

松尾公民館 / Matsuo KOUINKAN.

飯田市民松尾城 1012-1 / Iida-shi Matsuo Jou 1012-1



○日本語教室「わいわいサロンⅡ」鼎教室・後期



【期間】2015年12月9日～2016年2月3日(水)全8回 19:00～21:00
 【場所】松尾公民館 【内容】中級日本語/DST作品をつくらう
 【申込み先】飯田市民館 【託児】あります

飯田に暮らしてどのくらいになりますか？
 日々、どんなことを感じていますか？
 自分のこと、家族のこと、仕事のこと、趣味のこと…
 日本語で自分も人の話を聞いたり、話したり
 日本語で自分も話をつくりましょう。

回次	日時	内容
1	12月9日(水)19:00～21:00	DSTってなに？/みんなの得意なテーマ発表。
2	12月16日(水)19:00～21:00	自分のお話の準備①
3	12月23日(水)19:00～21:00	自分のお話の準備②
4	1月6日(水)19:00～21:00	自分のお話の準備③
5	1月13日(水)19:00～21:00	ビデオ撮影①
6	1月20日(水)19:00～21:00	ビデオ撮影②
7	1月27日(水)19:00～21:00	ビデオ撮影③
8	2月3日(水)19:00～21:00	上映会

こんにちは、どうぞ！
 ・しゃべれるけど書けない人
 ・丁寧な日本語で話したい人

DST(デジタルストーリーテリング)とは？
 アメリカで生まれ、世界に広がっている社会教育活動です。
 参加者が体験を語り合い、自分のお話のビデオをつくりまわします。

日本語教室申し込み書

★名前 _____ ★氏名 _____
 ★住所 _____
 ★出身 _____ ★希望したいこと _____



わいわいサロン Facebook はじめました。
 ニュースやイベント情報など、
 「日本語教室 わいわいサロン」
 Japanese Class Waiwai Salon で検索！

お問い合わせ先 飯田市民館 湯澤
 TEL: 0265-22-1132 FAX: 0265-22-1022
 E-mail: lccc01gr1@city.fda.nagano.jp

○日本語教室シンポジウム「いってみよう やってみよう 日本語教室！」



【とき】2016年2月14日(日)12:30～16:45
 【ところ】鼎公民館

●日本語教室展示● 本町日本語教室の様子を紹介します。	●多文化図書館● 外国語の辞書、書籍に無料で貸し出し、 図書館の活用方法も紹介します。	●言葉の壁● 耳が聞こえないことを自分の言葉で 書いてみよう！
●多文化共生を促すついで● ・カンボジア文化体験にちかづく 【飯田市民館主催 平成27年度文化共生推進事業による企画】 ・飯田に暮らして初めて 【外国にルーツを持つ方のお話】	●交流サロン● ①日本語教室体験 いっしょの日本語教室が体験できます。 来たいところがある方は、お問い合わせください！ ②おしゃべりタイム みんなのお話を聞きながら、みんなと交流しよう！	
●日本文化体験● 赤飯、うけ花、お餅つきなど ●外国文化体験● タンゴス体験しよう	●オックス大会● どのくらい飯田のことを知っているかな。 楽しみましょう！	好きなところへ 行ってね！！

DSTがあります。申請書は飯田市民館まで申請してください。
 D入場券は自由です。お支払いはありません。

申込み・問い合わせ
 飯田市民館 飯田市青葉町 139 TEL:0265-22-1132 担当:湯澤
 ※当日直接お越し頂いても構いません。

主催: 飯田市民館 飯田国際交流推進協会



ルーツに関係なく
 人とひとを繋ぐ場所
 それが日本語教室

あなたも参加してみませんか？

日本語教室ってどんなことしているの？という疑問があります。また日本語教室の場所ではありません。
 地域のひとと繋がりながら、飯田の暮らしを楽しんでいます。

日本人や他の外国人と日本語でたくさん話します。まちがちな大丈夫、参加者全員で楽しい教室を作りましょう。

教室名	開催日時	場所	対象	問い合わせ
わいわいサロン	水曜日 10:00～12:00 (お昼の時間から参加していただけます)	飯田市民館	日本語を学びたい方	飯田市民館 22-1132
ハンド・イン・ハンド教室	土曜日 13:30～15:30 日曜日 14:00～16:00	市立2階	日本語を学びたい方	市立 22-0912
飯田日本語教室	日曜日 14:00～15:30	市立公民館	主に中国語教室	市立公民館 22-0905
常盤台日本語教室	第2・第4土曜日 19:00～21:00	常盤台団地集会所	主に中国語教室	常盤台 090-4159-5827

※各回のイベントにもご協力いただいております。

ボランティアに興味がある方も一試ご参加ください。
 飯田市民館 22-1132 湯澤まで



【会場】
 松尾公民館 飯田市松尾 4012-1
 TEL: 0265-22-1132



○日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座 学習者アンケート

(1) 感想記入用紙

日本語教室(英語会)
氏名 田中 裕子
日付 平成 年 月 日

◆感想
有不明白的地方。
想要学习。
有要不明白。
可以请老师吗?

(2) 感想記入用紙

日本語教室(青森会)
氏名 木村 洋子
日付 平成 年 月 日

◆感想
讲得很好。学到了很多东西。
联系日语学唱!

(3) 感想記入用紙

日本語教室(津島台)
氏名 松尾 幸子
日付 平成 年 月 日

◆感想
今日、日中交流の法に感ずる非常に大いに学びました。今後の交流がより細かく行われることを期待しています。ありがとうございます。

(4) 感想記入用紙

日本語教室(東豊台)
氏名 長谷川 英子
日付 平成 年 月 日

◆感想
能能有这样的做法想法，深深感谢！
我本人非常感谢！
希望大家解常心。

(5) 感想記入用紙

日本語教室(津島台)
氏名 高田 裕子
日付 平成 年 月 日

◆感想
秋白の感想、本当に感謝いたします。

(6) 感想記入用紙

日本語教室(青森會)
氏名 石井 洋子
日付 平成 年 月 日

◆感想
人生の一歩、私も援かすことに勉強を始めます。

○日本語教室「わいわいサロンⅡ」出張講座「葬儀の流れ」資料

華儀の流れ

(亡くなってから葬式までの一連のなぐれをまとめて「葬儀」と言います。)

ちんちゆうちやくご
腦 終直後

1 家族・主な親族に連絡する

2 死亡診断書を受け取る

○病院で亡くなった場合

・死亡診断書は担当医が作成し、親族に渡される。

※死亡診断書は以後の手続きに必要

※ ^{かなこ}必ず ^{しんぞく}親族が ^{かんり}管理する

○^{こたう}自^な宅^{ばあい}で亡^なく^なった^{ばあい}場合

・医師または警察による死亡確認が必要。

それから死亡診断書の作成をする。

3 遺体の終送

・遺体を移送する場合は必ず死亡診断書を発行しなくてはならない。

4 火葬

・現在、日本では遺体は火葬することが一般的である。

(1) 火葬手続きについて

○火葬許可証申請

(遺体を火葬にするため、以下の手続きが必要)

①死亡届を死亡の事実を知ってから7日以内に、各市町村役場受付窓口に出す。

※死亡診断書、印鑑、火葬料金(現金)を持参する。

②「火葬許可証」を発行してもらう

火 葬 料		大人 (10歳以上)	子ども (10歳未満)	死産児 (12週以上)	胎児 (11週以下)
	飯田市内	10,000円	7,500円	2,500円	1,000円
	飯田市外	50,000円	30,000円	15,000円	10,000円

（２）火葬場の予約と火葬料支払いについて

・火葬許可申請時に、その場で火葬場の予約をする。

・火葬場予約時に火葬料(現金)支払う。

(3) 火葬場で

- ・火葬場への遺体の持ち込みは、棺が基本。
(棺をご購入後、遺体を納棺し火葬場へ運ぶ。)
- ・火葬後、遺骨は入れ物(骨壺)に入れて持ち帰る。

いとうでは、遺体の移動から火葬手続、火葬場予約・棺の販売、
遺体の納棺など、すべてを代行業務しております。ご相談ください。